

【 診療科:整形外科 】
 【 レジメン登録番号:OP-06 】

〈 VDC療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21						
オンコピン	1.5mg/m ² (max2mg)	div	○																	
アドリアシン	37.5mg/m ²	div	○	○																
エンドキサン	1200mg/m ²	div	○																	

【1コース期間:21日】 【総コース数:術前術後;OP-07と交互に治療、併せて17コースまで(ユーイング肉腫)、進行再発;制限なし(再発骨肉腫)】

【適応癌種:ユーイング肉腫・再発骨肉腫】

【時期:術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタント 125mg	p.o.

<day2-3>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタント 80mg	p.o.

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソルデム1 500mL	div(6時間で)
	メイロン8.4% 20mL	
Rp.2	グラニセトロン 1A	div(30分で)
	デキサート 9.9mg	
	生食 100mL	
Rp.3	オンコピン 1.5mg/m ² (Max 2mg)	div(全開で)
	生食 50mL	
Rp.4	アドリアシン 37.5mg/m ²	div(24時間で)
	生食 250mL	
Rp.5	ウロミテキサン 240mg/m ²	div(30分で)
	生食 50mL	
Rp.6	エンドキサン 1200mg/m ²	div(3時間で)
	生食 500mL	
Rp.7	ソルデム3A 1L	div(12時間ごとに持続)
	メイロン8.4% 40mL	
Rp.8	グラニセトロン 1A	div(30分で)
	生食 100mL	
Rp.9	ウロミテキサン 240mg/m ²	div(30分で)
	生食 50mL	
Rp.10	フロセミド 20mg	div(30分で)
	生食 50mL	
Rp.11	ウロミテキサン 240mg/m ²	div(30分で)
	生食 50mL	

<day2>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソルデム3A 1L	div(12時間ごとに持続)
	メイロン8.4% 40mL	
Rp.2	グラニセトロン 1A	div(30分で)
	デキサート 6.6mg	
Rp.3	アドリアシン 37.5mg/m ²	div(24時間で)
	生食 250mL	

<day3>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソルデム3A 500mL	div(6時間ごとに持続) ^{※1}
	メイロン8.4% 20mL	
Rp.2	グラニセトロン 1A	div(30分で)
	デキサート 6.6mg	
	生食 100mL	

【参考文献:The Oncologist 2017;22:1265-1270】

【備考:

①エンドキサン1日量の60%に相当するウロミテキサンを、1日3回に分割し静脈内投与すること。

(ウロミテキサンの投与タイミング:エンドキサン30分前、4時間後、8時間後)

②ユーイング肉腫では、IE療法(OP-07)と交互に2サイクル行った後、局所療法(手術・放射線療法)を加える。その後、両レジメン合わせて計17サイクルまで施行する。】

【備考:※1 メイン18時で終了】

【変法情報:アドリアシンの累積投与量が375mg/m²に達した場合は、アドリアシン抜きのVC療法として施行する。VC療法は3週間間隔もしくは2週間間隔で施行する。】